

通常総会を開催しました



4月30日(日)に令和5年度通常総会を開催いたしました。審議内容は、令和4年度の活動報告と決算報告について、令和5年度の活動計画案と予算案についてでしたが、全会一致で承認されました。親育白書PJが今年度の大きな事業となります。10期目の私たちを引き続きよろしくお願いいたします。

親育白書2PJの今後の予定

●「親(大人)に届けたい声を聴く」

・7月23日(日)13:30~15:30

東京都小平市(後援:小平市教育委員会) 小平市中央公民館

北海道小樽市(後援:小樽市、小樽市教育委員会) 小樽市生涯学習プラザレピオ

●今秋「親育白書アンケート」「親育白書作成のためのクラウドファンディング」を実施いたします。ご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

親育の最新情報、お申込はHPから

NPO法人親育ネットワークHPへ



親育メンバー募集中

「親育メンバー」を随時募集しております。お申込は、HPからどうぞ。

(講座受講で入会金免除、入会月で会費が異なります)

- ▼正会員 一緒に活動して、盛り上げていきたい。
入会金：10,000円 年会費：12,000円(月1,000円)
- ▼利用会員 イベントや講座に参加したい。
入会金：1,000円 年会費：6,000円(月500円)
- ▼賛助会員 私たちを応援したい。
入会金：10,000円 年会費：12,000円(月1,000円)

私達が正会員メンバーです(50音順、令和5年6月1日現在。メンバーの紹介はHPにて)

代表理事) 黒田 忠晃 副代表理事) 岩淵 優子 理事) 岩附 あずさ 監事) 太田 秀樹
 ファウンダー) 山上 敏樹 横山 美八子
 正会員) 磯畑 香苗 岩淵 賢次 加藤 幸江 久野 由詠 眞柄 文子 松本 紀子 村野 政章 山本 百百代



〒470-0122

愛知県日進市蟹甲町中島277-1(にぎわい交流館内)

電話：0561-76-3475(La C Lo内)

E-Mail：oyaiku.network@gmail.com

HP：「親育ネットワーク」で検索

<http://www.oyaiku-net.org/>



「親育」を通じて、未来ある社会を

おやいく通信

NPO法人親育ネットワーク



令和5年6月
第14号

親育研究会再始動！

○一昨年に「親育白書」を発行しました！



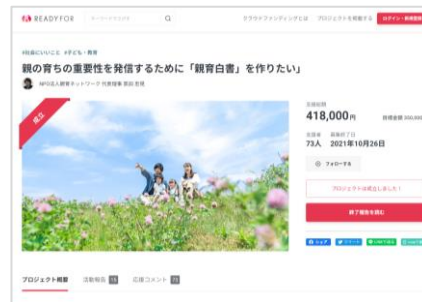
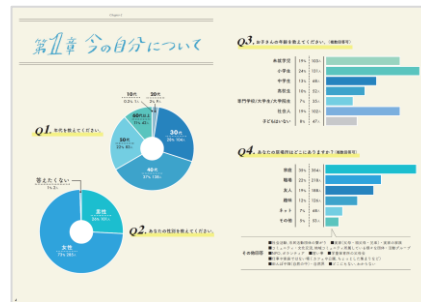
活動支援金1冊600円(税込、送料込)

NPO法人親育ネットワークは、保護者や子どもと携わる大人を対象に、新しい時代の価値観や、子育てに関する知識や情報を発信する「親育」を行う個人及び団体を繋ぐネットワークを創ることを通じて、「親育」の意義や必要性を社会認知させるとともに、家庭教育を含めた子育て支援の場を広く展開することによって、互いを認め合い、幸福感をもって生きている人があふれる社会を創出することを目的として、2015年2月に設立いたしました。

「親育」講座をこれまでに80回以上重ねて、会員や参加者の皆様と対話する中で、常に「親育」の必要性を感じながら「まずは親が変わらないとね」「親育って大事だよね」というお声をたくさん頂くようになりました。

感覚的に「親育」の意義や必要性を感じてくださっている方が多いのですが、数値として見える形、すなわち、定量化されていないのが現実でした。

そこで、「親育」の重要性を定量化するために、内部で「親育研究会」を発足し、ヒアリングを通じてできたアンケート調査を実施。その調査内容をまとめた「親育白書」をクラウドファンディングで作成し、一昨年11月に発行しました。中日新聞、地元ケーブルテレビなどメディアでも大きく取り上げていただきました。



○「親育白書2」発行に向けて



前回の白書を作成する過程で、「子どもの声を集めて、『親育』の重要性を発信できたらいいね」という声があがりました。当事者の声を反映させることでより、発信力が上がると考え、新たな白書「親育白書2」の発行に向けて、昨年11月より、再びオンラインで「親育研究会」がスタート。

メンバーで意見交換をしながら、来年4月発行に向けて準備を進めることに決定。「大人も子どもの頃が必ずあるので、子どもの頃のことを聞いていけば見えてくるものではないか」という仮説のもと、まずはキックオフイベントとして、リサーチを始めることにいたしました。

○親（大人）に届けたい声を聴く

4月30日（日）午後「親（大人）に届けたい声を聴く（後援：愛知県教育委員会、日進市教育委員会）」をテーマに、愛知県日進市で講座を開催しました。

小4以上から25歳くらいまでの若者に集まっていたが、質問に答えていただきながら、グループごとに対話する時間をとりました。

「親（大人）に聞きたいことは何ですか？」

「親（大人）に言いたいことは何ですか？」

「どんな親（大人）になりたいですか？」

の3つの問い。試験的に親育のメンバーも一緒に参加し、子どもの頃に戻った意識で同じ問いに答えていただきました。若者からの「聞きたいこと」については、大人である親育メンバーが回答。若者だけではなく、大人も新たな気づきがたくさんあった様子でした。

7月は愛知を飛び出して「東京都小平市」「北海道小樽市」でも講座を開催が決定！各地域の教育委員会の後援もいただきました。地域の違いがあるかを確認したうえで、白書作成に向けたアンケート調査項目を決定したいと思います。

●「親育白書アンケート調査」「白書作成に向けたクラウドファンディング」を今秋行います。ぜひご協力・ご支援をお願いいたします。



先日、20回目のわたし達主催の音楽発表会を開催しました。28年前から続けていくことができました。第一子の出産直後からでした。音楽教室にお勤め時代からの講師歴35年。今まで関わってくださった皆さんに感謝しかありません。

女性として、この世に誕生してもうすぐ55年。いろんなことがありました。性格がザ、ストレートなわたしは、子どもの頃からストレートな表現や行動が多く、中学でも高校でも、先生に「帰れ！」と言われ、クラスのほぼ全員と連れ立って帰ったり、ピアノ演奏の試験で不正のようなことがあり、わたしの担当講師ではない先生に談判したりもありました。

転校先でひどいイジメにあっているのに、明朗活発と毎回通知表に書かれていた小学生時代。親、友達、彼氏との悩みの尽きなかった思春期。社会人となり先生と呼ばれる立場になり、結婚して妻という立場になった大人と呼ばれ始めた時代。子どもが生まれて親と呼ばれる時代を29年過ごして、子どもではない、妻でもない、親ではあるけど肩の荷がほぼない今。ここに来て、わたしは何者なんだろうと思うことが多くなりました。

怒るをやめたい。誰かや、何かに怒っているわたしをどう手放すか。怒っているのはわたしで、怒りを感じているのもわたし。わたしの正しさと誰かの正しさは違う。それはどうしようもない場合がある。要はわたしの側の問題であって、誰の問題でもないそれにどう折り合うか。ぶつかって形を変えるのか？距離を置くのか？歩み寄るのか？それとも何か他の方法を探すのか？

自分の機嫌は自分で取る。わたしが自分の世界を平和で満たす。わたしが平和で笑っていれば、家族やわたしの周りの子ども達、会社の仲間、友人達も平和に笑う時間が増えて、それが広がって地域、国、世界平和に少しは貢献出来るはずです。

先日、ちょっとボケてきている母がわたしの名前を思い出せなかったようで、「たかこ(妹の名前)じゃない方」と、わたしのことを表現したと聞き、母はすごいなあと思います。ボケていても面白い表現で笑いを提供してくれます。わたしも周りに笑いを提供できる楽しい人になりたいと思います。死ぬ瞬間まで笑っていたいと思います。

打楽器の師匠が亡くなったと知らせが届きました。同じ岡山出身で、太鼓を一打叩くだけでリズムを感じる素晴らしい音を出す先生でした。すごい人なのに、優しく面白い人でした。友人を亡くした時も会える距離にいる人なのに、なぜもっと会わなかったのかと後悔していました。また後悔が残りました。

わたしは何者か。「笑って人生を歩く」「行動する」をキーワードに、これからも考え感じ、コレ！という答えを出したいと思います。